

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 04

学校名・団体名	深浦町立岩崎中学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	町の伝統芸能『十二湖太鼓』を復活させよう！

〈活動・研究の意義および活動報告〉

1 活動に至る経緯

- ・平成28年度の本校学校教育評価（平成28年12月、保護者及び地域住民を対象に実施）において、「十数年前まで続いていた伝統芸能である『十二湖太鼓』を復活させて、地域をもっと元気にしてほしい」という意見が寄せられた。
- ・平成29年度4月に全校生徒に説明したところ、当時3年生の6名の生徒が名乗り出てくれたため、十二湖太鼓愛好会のご指導を受けながら、『十二湖太鼓』復活に向けて大きく動き始めた。
- ・平成29年7月から月2～3回程度の割合で、放課後及び休日の夕方に練習し、10月の本校文化祭で『十二湖太鼓』を初披露し、保護者並びに地域住民からとても高い評価を得ることができた。
- ・本校文化祭が終了した11月からは、先輩のかっこいい姿を見た後輩（当時2年生4名、1年生6名）が自主的に名乗り出て『十二湖太鼓』を引き継ぐことになった。
- ・平成29年12月からは先輩と十二湖太鼓愛好会の指導の下、全く新しいメンバーで練習を始め、平成30年3月にはほぼ演奏できるまでに成長した。

2 活動時間および内容

月	活動時間	活動内容
4	18:00～19:30	・練習 ・13日 白神十二湖山開きの安全祈願祭で演奏
5	18:00～19:30	・練習 ・20日 いわさき小・岩崎中合同運動会で演奏
8	18:30～20:00	・練習
9	18:30～20:00	・練習
10	18:30～20:00	・練習 ・14日 本校文化祭で演奏
11	18:00～19:30	・練習 ・17日 町芸能祭で演奏 ・18日 十二湖駅で演奏
12	17:30～19:00	・練習
1	17:30～19:00	・練習
2	18:00～19:30	・練習
3	18:00～19:30	・練習

3 活動の効果

- (1) 当町の観光名所である「世界遺産白神山地」や「十二湖」のイメージアップにつながっている。
 - ・深浦町は観光資源が豊富である。「白神十二湖山開き」の出発式で演奏する機会があり、多くの観光客に「世界遺産白神山地」と「十二湖」をアピールすることができた。そのことが町のイメージアップにつながっている。また、11月にはJR五能線十二湖駅で演奏したことで、「白神十二湖」だけではなく、JRからも五能線のイメージアップになっていると評価された。
- (2) 地域に根差した特色ある学校づくりに寄与している。
 - ・本校は生徒数35名の小規模校である。これまではこれといった特色があまりない学校であったが、十二湖太鼓を復活させたことで、地域の目が少しずつ本校に向けられてきており、特色ある学校づくりに寄与している。
- (3) 学校と地域の風通しがよくなり、連携がスムーズになってきている。
 - ・地域の方も学校のために何かできることはないかと考えていたが、具体的な活動までには至らなかった。しかし、十二湖太鼓の復活で、定期的に本校を訪れるようになり、本校に対する心の壁がほとんどなくなり、地域住民にも「開かれた学校」というイメージが定着しつつある。
- (4) 他の郷土芸能の継承にも寄与している。
 - ・十二湖太鼓に触発されて、当地区で7～8年前まで踊られていた「御慶山踊り」も復活し、本校文化祭で地域の方と一緒に踊ることができた。
- (5) 生徒が地域の大人や観光客と直接触れ合うことで、視野を学校の外へ広げる機会となり、さらには地域の良さを再発見する機会となっている。
 - ・小規模校のマイナス面として、競争意識があまり高くなく、大勢の前で発表する機会に恵まれていないため、高校へ進学したときにつまずく生徒がいるが、それをクリアするためのよい経験となっている。また、これまでは当たり前と思っていた豊かな自然を観光客に褒められ、認められることで、地域の良さを再発見と再認識している。

4 活動の様子



4月 白神十二湖山開きでの演奏



5月 小中合同運動会での演奏



11月 十二湖駅での演奏



11月 町芸能祭での演奏